令和２年７月２８日
廃棄物減量等推進審議会
資料２－３

令和元年度の家庭ごみ有料化及び戸別収集に伴う歳入・歳出

歳入

廃棄物処理手数料
（家庭ごみ指定収集袋分）
約５億４，４００万円

歳出

指定収集袋関係経費　約２億５００万円

指定収集袋の製造や流通に係る経費
①指定収集袋製造・配送費
②指定収集袋受注等委託費
③指定収集袋販売手数料

パンフレット関係経費　約１，０００万円

ごみ出しに関するパンフレットに係る経費
①パンフレット・カレンダー作成費
②パンフレット・カレンダー配布費

戸別収集委託料（増額分）　約１億９，２００万円

戸別収集実施に伴い増額した収集委託料
ごみ等収集運搬委託

３Ｒ推進経費　約１億３，７００万円

ごみの減量・資源化の推進のための事業費
①資源物収集運搬、再資源化等委託
②生ごみ処理機購入補助金
③集団回収補助金
④食物資源循環事業費

令和元年度の指定収集袋　製造・配送数

		製造・配送数	
		サイズ別	合計
燃やすごみ用袋	5リットル	1,147,660枚	15,465,090枚
	10リットル	2,507,450枚	
	20リットル	3,929,930枚	
	40リットル	2,125,820枚	
燃やさないごみ用袋	5リットル	258,340枚	
	10リットル	310,290枚	
	20リットル	419,660枚	
	40リットル	352,490枚	
プラスチック製容器包装用袋	10リットル	1,069,350枚	
	20リットル	2,153,520枚	
	40リットル	1,190,580枚	

平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月までに、各取扱店へ製造・配送された数及び公共施設等での販売数は約 1,550 万枚。
燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装全てにおいて 20 リットル袋の需要が最も多くなっている。

直近の有料化実施市の状況

	有料化実施時期	燃やすごみ・燃やさないごみ手数料（20ℓの場合）	１人１日あたり収集ごみ量（g）	多摩26市順位
小平市	平成31年4月1日	40円／1枚	511.4g／日	25位
東久留米市	平成29年10月1日	40円／1枚	366.6g／日	5位
国立市	平成29年9月1日	40円／1枚	389.2g／日	10位
東大和市	平成26年10月1日	40円／1枚	409.8g／日	12位
立川市	平成25年11月1日	40円／1枚	355.5g／日	1位
国分寺市	平成25年6月1日	40円／1枚	361.3g／日	3位
府中市	平成22年2月2日	40円／1枚	362.9g／日	4位

※清瀬市は令和 2 年 6 月 1 日から手数料の改定を実施している（燃やすごみ、燃やさないごみ 20ℓの場合 20 円/1 枚→40 円/1 枚へ変更）

多摩地域 26 市のうち、直近（過去 10 年間）で有料化を実施した市を見てみると、ごみの減量が進んでいる（平成 30 年度数値のため、小平市は有料化実施前の数値）。